

【樹木の部屋】

クスノキ(クスノキ科クスノキ属 Cinnamomum camphora)

和名：樟、楠 **別名**：クス、ナンジャモンジャ **英名**：Camphor Laurel

クスノキ目 常緑広葉樹・高木 **原産地**：日本 中国 台湾 ベトナム

花言葉： 芳香 **花の色**：

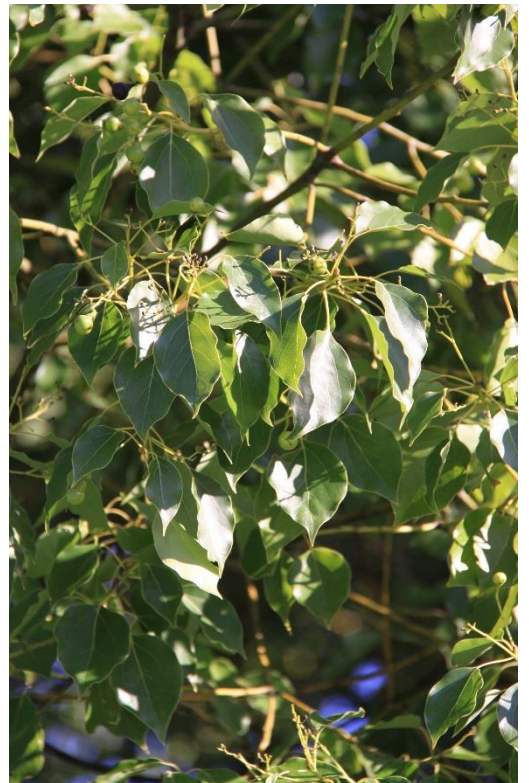


← 写真-1 クスノキの樹姿

撮影日：2012年10月13日

撮影場所：奈良市郊外・鴻池市営球場にて

撮影者：M さん



→ 写真-2 クスノキの小枝

撮影日：2012年10月13日

撮影場所：奈良市郊外・

鴻池市営球場にて

撮影者：M さん



← 写真-3 クスノキの葉

撮影日：2012年10月13日

撮影場所：奈良市郊外・

市営鴻池球場にて

撮影者：M さん

奈良市郊外にある、市営鴻池球場の敷地内で見かけました。クスノキは、日本では、中部地方以西で見られ、特に、珍しい樹木ではありませんが・・・とくに神社林ではしばしば大木が見られ、ご神木として人々の信仰の対象とされるものも良く見かけます。

日本最大のクスノキは、鹿児島県蒲生八幡神社の「蒲生の大楠」(幹周 24.2m)で、幹周の上では全樹種を通じて日本最大の巨木で国の特別天然記念物。

特にクスノキが多い神社として、福岡県宇美八幡宮（国指定 2 本/県指定 25 本、幹周 5m-9.9m 9 本、10m-14.9m 1 本、15m 以上 2 本）、愛媛県大山祇神社（国指定 38 本/県指定 1 本、幹周 5m-9.9m 10 本超、10m-14.9m 2 本、15m 以上 1 本）などが有るそうです。

全体から樟脳の香りがするのが特徴です。クスノキの枝葉を蒸留して得られる無色透明の固体が樟脳で、防虫剤や医薬品等に使用される。カンフル注射のカンフルはこの樟脳を指しており、クスノキが英語で camphor tree や camphorwood、camphor laurel と呼ばれるように“camphora”という種名にもなっている

<ちょっと一言>

＊「ナンジャモンジャ」は「ヒトツバタゴ」など他の植物を指して用いられている場合もあります。

ヒトツバタゴ(モクセイ科ヒトツバタゴ属 *Chionanthus retusus*)

別名：ナンジャモンジャ ナンジャモンジャノキ

英名：Chionanthus retusus シソ目 落葉高木

花言葉：清廉 **花の色**：白 **原産地**：日本、朝鮮半島、中国

日本でも限られた地域 - 木曾川流域(愛知・岐阜)と対馬に自生する落葉性の高木で、ヒトツバタゴは「一つ葉のトネリコ」という意味だそうです(トネリコは複葉なのに対して、本種は単葉)。

ナンジャモンジャは、その地方には珍しい樹種や巨木をさす呼称で、一つ葉たご(ヒトツバタゴ)に限定されるものではないそうですが、ヒトツバタゴをこの名で呼ぶことが多いそうです。